

感覚処理感受性と共感の関連の検討

— 自閉傾向との違いに着目して —

花岡麻衣

(広島大学大学院人間社会科学研究科)

目的

感覚処理感受性 (Sensory-processing Sensitivity; SPS) は生得的な特徴で、感覚情報の脳内処理過程における基本的な個人特性と定義され (Aron & Aron, 1997), SPS が高い人の割合は人口の約 15% と考えられている (Aron, 1999)。SPS の高い人は「感情の反応が強く、共感性が高い」という特徴をもつが (Aron, 2002 明橋訳 2015), SPS の高い人の共感特性に関する検討はあまり行われていない。そこで本研究では、SPS の高さと同感との関連を検討する。SPS の高い人の共感性が高いという特徴から HSPS-J19 得点と IRI-J 得点に正の関連がみられると予測する (仮説 1)。

加えて、SPS の高い人の諸感覚の敏感さの特徴と自閉スペクトラム症者の感覚過敏は類似するため、SPS の高さと同感スペクトラム症の併存の可能性があり、両者の判別が必要になる。本研究では共感を測定する尺度との関連の比較から、SPS と自閉傾向を区別する傾向の違いを明らかにすることを目的とする。自閉スペクトラム症者は心の推論能力が低く (毛利, 2018), 共感に困難があるが、SPS の高い人は共感性が高い (Aron, 2002 明橋訳 2015) ことから、HSPS-J19 得点と AQ-J-16 得点とで IRI-J 得点との関係に傾向の違いがみられると予測する (仮説 2)。

方法

参加者 20–65 歳のウェブ調査モニター 150 名 ($M=32.4$)。男性 59 名, 女性 73 名, 未回答 18 名。

尺度 ① Highly Sensitive Person Scale 日本版 (HSPS-J19): 高橋 (2016) が翻訳, 作成。19 項目, 7 件法。② 日本語版対人反応性尺度 (IRI-J): 日道他 (2017) が翻訳。28 項目, 5 件法。下位尺度は「共感的関心 (EC)」、「視点取得 (PT)」、「個人的苦痛 (PD)」、「想像性 (FS)」の 4 つ。③ 自閉性スペクトル指数日本版短縮版 (AQ-J-16): 栗田他 (2004) が翻訳, 作成。10 項目, 4 件法。

手続き 2020 年 11 月に、Qualtrics を用いて作成した Web 上のアンケートフォームにて回答を収集した。尺度は HSPS-J19, IRI-J, AQ-J-16 の順に実施し、各尺度項目はランダム呈示とした。

結果

分析には HAD17_102 (清水, 2016) を用い、有意水準は 5% に定めた。まず HSPS-J19 得点, AQ-J-16 得点, 下位尺度得点を含む IRI-J 得点の関係について相関係数を算出した (Table 1)。仮説 1 について、HSPS-J19 得点と IRI-J の全体得点に正の関連がみられた。IRI-J の下位尺度得点との関係は、PD と FS に正の関連がみられたが、EC と PT には関連はみられなかった。仮説 2 に関し、IRI-J 得点について HSPS-J19 得点と AQ-J-16 得点の関連の仕方を比較した結果、IRI-J の全体得点との関連について、HSPS-J19 得点と正の関連がみられたが、AQ-J-16 得点とは関連がみられなかった。IRI-J の下位尺度得点との関連については、EC と PT は AQ-J-16 得点とのみ負の関連を示し、FS は HSPS-J19 得点とのみ正の関連を示した。

Table 1

HSPS-J19とAQ-J-16の相関分析の結果の比較		
	HSPS-J19	AQ-J-16
HSPS-J19	—	.364*
IRI-J	.477*	-.147
PD	.684*	.363*
EC	.167	-.308*
PT	-.014	-.362*
FS	.327*	-.132

PD=個人的苦痛; EC=共感的関心; PT=視点取得; FS=想像性

* $p < .05$

考察

SPS の高さと同感 IRI-J の下位尺度のうち情動的共感の中心的概念とされる共感的関心に関連はなく、個人的苦痛との関連が下位尺度の中で最も高かった。この結果から SPS の高い人の「共感性が高い」という特徴は、情動的共感能力の高さによるものではなく、単に「他人の感情に左右される」と主観的に感じやすい、またはそのことを苦痛に感じやすいことを示している可能性がある。

自閉傾向の高さと、IRI-J の下位尺度のうち情動的共感と認知的共感の中心的概念とされる共感的関心と視点取得との間に負の関連があり、IRI-J の全体得点とも非有意だが負の関連がみられた。これらのことは SPS との傾向の違いと捉えられ、SPS の高い人に自閉傾向の高さもみられるが、共感特性により両者は区別される可能性がある。